

開設年度		開講部局	
2014		共通教育	
科目名			
進取の精神（世界平和と人類福祉）			
英語科目名			
Enterprising Sprit through World Peace and Human Welfare			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
後期	毎週	講義	2
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
a. 実践・判断・精神力		2. 自己確立・他者理解を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		人間教育科目	
受講学部学科			
全			
担当教員		担当教員所属	
吉田 浩己		稲盛アカデミー	
連絡先 (TEL)		連絡先 (MAIL)	
099 - 285 - 3760		inamori@gm.kagoshima-u.ac.jp	
オフィスアワー (授業時間外の対応)			
共同担当教員			
田中弘允・萩原 豪			
メインキーワード		サブキーワード	
自己の確立		社会問題への理解と実践	
授業概要 (目的・内容・方法)			
<p>本授業の目的は、鹿児島大学教育目標および稲盛アカデミー教育目標に則し、向上心をもって自ら困難に立ち向かう態度（進取の精神）を養い、地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養うことである。</p> <p>本授業の内容および方法は、以下の通りである。</p> <p>(1) 本学の歴史や日本の近代化を推進する過程で多くの困難に果敢に挑戦した鹿児島の若者について学び、本学が先人より引き継ぐ「進取の精神」を理解する。</p> <p>(2) 平成26年度後期は、鹿児島で社会の発展のための活動を展開している団体等の中で、現代社会が抱えている諸問題のうち、地球環境問題・企業の社会的責任・識字問題・国際協力・平和問題について実践している人を講師として迎え、その問題と取り組んでいる内容について理解を深める。</p> <p>この講義を受けた後、受講した学生が土・日曜日、休日等にこれらの活動への自主的参加を決断する行為や、地域社会の現場での活動に積極的に参画するなかで、進取の精神と行動力を涵養する。</p>			
学習目標			
<p>(1) 「進取の精神」の概要について理解し、説明することができる。</p> <p>(2) 「進取の精神」を継承し、困難な課題にも果敢に挑戦できる。</p> <p>(3) 「持続可能な社会」の構築に貢献できる行動力を養う。</p>			
授業計画 (15回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
<p>1. ガイダンス</p> <p>2. 「進取の精神」とは何か</p> <p>3. 鹿児島における「進取の精神」 (ゲスト講師を雇用予定)</p> <p>4. 国際平和と人類福祉(1)</p> <p>5. 国際平和と人類福祉(2)</p> <p>6. 「進取の精神」の実践(1) 地球環境問題 (ゲスト講師を雇用予定)</p> <p>7. 「進取の精神」の実践(2) 地球環境問題 (ゲスト講師を雇用予定)</p> <p>8. 「進取の精神」の実践(3) 企業と社会的責任 (ゲスト講師を雇用予定)</p> <p>9. 振り返り (中間)</p>			

- 10. 「進取の精神」の実践(4) 識字問題(ゲスト講師を雇用予定)
- 11. 「進取の精神」の実践(5) 国際協力(ゲスト講師を雇用予定)
- 12. 「進取の精神」の実践(6) 国際協力(ゲスト講師を雇用予定)
- 13. 「進取の精神」の実践(7) 平和問題(ゲスト講師を雇用予定)
- 14. 「進取の精神」の実践(8) 平和問題(ゲスト講師を雇用予定)
- 15. 振り返り(まとめ)

授業外学習(予習・復習)

各授業の際に指示をする。

受講要件	成績の評価基準
本講義のテーマに関心を持ち、「進取の精神」を实践・継承してきたいと思っていること。	授業への参加度(授業態度や参画度など): 60%、課題等提出物(リアクションペーパーやレポート、最終レポートなど): 40%、で総合的に判断する。学期末試験は行わない。なお、最終レポートの提出がない場合は評価対象外とする。
教科書	参考書
特になし。	授業中に指示をする。

その他

授業を受けた上で土曜日・日曜日、あるいは冬休みなどを利用して、講師が行っている活動に自主的な参加を勧める。